

平成26年度 事務事業評価シート

事務事業名		高齢者の健康づくり				所管	健康部 保健サービス課	
事務事業の概要	行政計画	なし	事業NO.		計画事業名			
	長期総合計画体系	[基本目標]					事業の開始・終了年度	
		[小 柱]					[事業開始] 平成 1 3 年度	
		[施 策]					[終了予定] - 年度	
	根拠法令等	法令(義務)		[法令等名]	介護保険法 第115条38項			
	事業対象	概ね65歳以上の高齢者及び介護予防に興味関心のある区民						
	事業目的	高齢者自身が健康づくりに必要な知識を習得し、自ら実施できるよう知識の普及および支援を行うことにより、健康寿命の延伸と、生活の質の向上を図る。						
	事業内容	(1) 高齢者の健康づくり教室: 概ね65歳以上の高齢者に対し、高齢者の健康づくりに必要な知識を普及するための教室等を実施。(知識編・運動編・尿失禁予防・栄養改善・口腔機能向上) (2) ふれあい介護予防教室: 概ね65歳以上の区民に対し、身近な地域の中で健康づくりを広めることや閉じこもり予防を目的とし、区内の各地域包括支援センターと共催の教室を実施。 (3) 地域の依頼による高齢者健康教室: 地域からの依頼により、介護予防に必要な知識を普及する教室を実施。						
委託の有無	なし	委託内容						
補助金の有無	国							
事務事業の実績	種 別	指標の名称 (単位)		目標値 (27年度)	23年度	24年度	25年度	
	活動指標	実施回数 (回)		110	113	104	106	
		参加人数 (人)		1,400	1,680	1,346	1,551	
	成果指標	意識が向上した高齢者の割合 (%)		90.0	94.0	94.0	89.0	
		利用者の満足度 (%)		90.0	91.0	86.0	89.0	
	決算額 (単位: 千円)				615	608	552	
	事務事業コスト (単位: 千円)	人にかかるコスト (人件費など)			12,871	11,246	11,504	
		物にかかるコスト (物件費・維持補修費)			332	330	288	
		その他のコスト (扶助費・補助費など)			284	279	265	
		総経費			13,487	11,855	12,057	
	財源項目 (単位: 千円)	受益者負担額 (使用料・手数料・負担金など)			4	5	5	
		その他特定財源 (国や都の支出金・財産収入など)			535	528	479	
一般財源 (区負担額)			12,948	11,322	11,573			
前年度から改善した事項		笑顔のつどいなど、既存の教室に出向き健康学習をおこなうことで効率化が図れ、参加者数の増加につながった。						
評価の視点	評価	評価の理由						
	必要性	4	高齢率が高まる中、介護予防の取り組みは引き続き重要である。					
	効率性	3	既存の教室に出向く形で健康学習を実施したことで、人的資源の効率化を図ることができている。また事業運営にあたり区民ボランティア(体操サポーター)の支援を得ることで、共助の広がりにもなっている。					
	手段の適切性	3	特にふれあい介護予防教室については、介護予防の知識啓発だけでなく、引きこもり等の気になる近隣に住む高齢者の誘い出しの場としても活用されている。					
	目的達成度	3	健康学習会に参加しての満足度は高いが、健康学習の実施回数や参加者数は年々減少傾向にあり、目標に届いていない。					
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)						評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了
区の高齢者の割合が増加している今、健康寿命を延伸させるためには、介護予防の知識啓発は重要である。参加者数及び教室開催数減少の背景を探りつつ、事業展開の方法を工夫していく必要がある。							維持	